

松山大学の今を綴る学園報

CREATION

[クリエイション]

225 2025
SPRING

新しい
松大が
はじまる

COVER

新学長
池上真人

A NEW START

CONTENTS

新入生へのメッセージ

情報学部からはじまる
ワクワクさせるミライへ

学術＋研究

経済学部経済学科准教授 望月雄介

松大生FILE

 松山大学



CONTENTS

CREATION NO.225 2025 SPRING

- 1 はじまりの扉 ～特別編～
- 3 新入生へのメッセージ
- 5 情報学部からはじまる
ワクワクさせるミライへ
- 9 学術＋研究
- 11 OGインタビュー
- 12 松大生FILE
- 13 CAMPUS TOPICS&NEWS
- 15 海外留学にChallenge! 国際センター
- 16 キャンパスNavi@学生部
- 17 頑張ってます! 課外活動
- 18 松大生REAL VOICE



す。松山大学もまた、この変化の波のなかで、新たな挑戦として6番目の学部である「情報学部」を新設しました。新たな時代にふさわしい教育環境を整え、学生一人ひとりが持つ可能性を最大限に引き出していくためです。

松山大学は100周年に「実れ、ミライ。」というスローガンを掲げました。これは、過去、現在につながる時間軸としての「未来」ではなく、学生一人ひとりが望む「ミライ」を実現したい、という思いが込められています。この「ミライ」を創り出すためには、変わることを恐れず、変化に挑戦していく必要があります。松山大学は、皆さんが「ミライ」に向かって挑戦し続けることを全力で支えます。変化を恐れず、自らの可能性を信じて、大学と共に新たな一歩を踏み出しましょう。

松山大学は、1923年に日本で3番目の私立高等商業学校として創立され、現在では6学部7学科6研究科を擁する総合大学へと発展してきました。8万4000名を超える卒業生を社会に送り出し、それぞれが社会の担い手として活躍しています。

松山大学は、校訓「三実」（真実、実用、忠実）を普遍の精神として教育の根幹に据え、長い歴史と伝統を守ってきました。一方で、大学は常に時代の変化に対応し、新たな価値を創造し続けることが求められています。創立以来、松山大学は時代に即した実践的な教育を提供し、100年の歴史のなかで、幾度もの変革を乗り越えながら、社会のニーズに応じた学びの場を築いてきました。そして今、AIやビッグデータの活用など情報技術の急速な進化、ダイバーシティ&インクルージョンを含む社会の価値観の変化など、社会は大きな転換期を迎えています。

松山大学 第18代学長
池上 真人
IKEGAMI Masato

情報学部からはじまる

ワクワクさせるミライへ

2025年4月、デジタル人材の育成を目指す「情報学部」新設

DXの進展やAIの進化など、地元企業や自治体でも高度な専門人材の需要が高まっており、松山大学の新たな挑戦に大きな期待が寄せられている。情報学部新設に向け、松大ならではのユニークなカリキュラムづくり、文部科学省への設置認可申請まで中心となって尽力した池上真人学長、檀裕也情報学部長、企画広報課の中村詩乃係長が情報学部の持つ可能性、数十年先のミライを見据えた人材育成について語った。

情報学部をつくることは
今後の松大の戦略において意義あること



中村 詩乃 企画広報課係長
NAKAMURA Shino
事務職員として、文部科学省に情報学部の設置認可申請をするための取りまとめ全般に携わる。松山大学創立100周年記念事業の推進役を務めた。



檀 裕也 情報学部長
DAN Yuya



池上 真人 学長
IKEGAMI Masato

英語教育学を専門とし、経営学部教授、大学院言語コミュニケーション研究科教授、副学長を歴任。2025年1月より現職。

経営学部情報コースの専門科目を担当し、情報技術の最先端について研究。経営学部長、副学長を歴任。2025年4月、情報学部の初代学部長に就任。



中村 詩乃 企画広報課係長
NAKAMURA Shino

事務職員として、文部科学省に情報学部の設置認可申請をするための取りまとめ全般に携わる。松山大学創立100周年記念事業の推進役を務めた。

この度の情報学部新設にあたり、その背景と構想をお聞かせください。

池上 本学では以前から新しい分野を開拓していく必要があると考えていました。基本的に文系が主の大学なので、特に理系分野に比べていけないだろうかという構想はあったんです。そのなかで、今後非常に重要になってくる情報分野に注目していました。愛媛県内でも企業や自治体のほとんどが十分なIT人材を確保できておらず、IT業務の内製化、DXへの取り組みが大幅に遅れているという状況のなかでIT人材に対するニーズも高まっています。情報系学部の増設という国の政策が出されたタイミングで愛媛県からも望まれるという状況が整ったため、大学として動き出しました。

檀 私は情報の専門分野の教員として、経営学部情報コースのなかで18年間、学生を見てきました。卒業生から「社会は急速に情報化し、デジタル技術が浸透していく」という話を聞き、「松大も情報分野をより厚くし、専門的な人材を輩出しなければ」という思いを常に持っていました。今後10年、20年、あるいは50年先の仕事ができる人材を育成するためのカリキュラムを学部としてつくるのは、大きな意義があると確信していました。

社会人として必要な

「コミュニケーション」も学べる。
松大だからこそ、強化できる分野



中村 情報学部のカリキュラムの特徴を教えてください。

檀 現在、高校の学習指導要領が改訂され、「情報」という新しい科目を含めた学びの高度化が進んでいます。松大の情報学部は情報学を「情報システム」と「メディアデザイン」という2つの分野に分けています。AIやデータサイエンスといった両分野の共通領域も学びながら、専門領域を深く学べるのが大きなポイント。情報分野に特化しつつ、いかにして多様性が求められる実社会で学びの成果を発揮できるか：実践的な学びを通して、デジタル技術で課題が解決できる人材の育成を想定しています。

また、自分で学修内容を組み立てられる、オープンな形のカリキュラムも大きな特徴です。自分が習得したい技術などを目標に定め、それに必要な科目を選んでいくプログラム型カリキュラムです。そのため、理系の学部でありながら、必修科目が少なく自由度が高い。専門分野を中心に据え、その周辺領域を広く学べるカリキュラムとなっています。

池上 1年次ではコミュニケーションそのものを学ぶ科目も選択できます。「自分の意思をどう発信すれば正しく伝わるのか」「他者と一緒に何かをやっていくときに誤解を生まないようにするため、どんなコミュニケーションをとればいいのか」ということを学ぶのですが、これはこれまでの松大のカリキュラムから生まれており、松大ならではの学びではないかと思っています。



新校舎「情報学部棟(仮称)」は2026年4月完成予定

デジタル技術で

社会の変革を推進するリーダーになりうる人材を育てたい



中村 情報学部で学んだ学生たちには卒業後、どんな進路が考えられますか。

池上 卒業後の進路としては、ITのスペシャリストとして、プログラマーやシステムエンジニア、システムインテグレーターなど情報分野への就業を想定しています。

その先に求められるのは、専門分野を活かしてDXを推進していく人材だけではなく、デジタル技術を使って社会を変革していくリーダーになりうる人材や、

デジタル技術をあらゆる分野で活かせるような、社会に有為な人材を輩出したいと思っています。また、さらに学びたい人には大学院へ進んで研究を深めてほしいという思いもあります。

檀 仕事をするうえで大切なのは「チームワーク」。社会に出たら、考え方が異なる人たちが一緒に仕事をするという場面が多くなります。情報学部では、自分と他者との発想や思想の違いを踏まえ

情報の専門知識・技術のみならず

校訓「三実」も実践できる人材の輩出を



中村 地域からはどんな声が寄せられていますか。

檀 おかげさまで企業や自治体からいろんなお声がけをいただき、多くのプロジェクトを稼働させる準備が整いました。企業や自治体が抱えている課題をリストアップし、デジタル技術やデータサイエンスによる解決に向けたノウハウを構築していきます。そして、アプリやゲームをつくる新しい技術を使って課題解決に導きます。その過程に学生も関わり、それに

よって地域がどんどん豊かになっていくことが目標であり、期待されていることでもあります。

池上 松大が果たすべきミッションは、情報の専門知識・技術を持つことはもちろん、それを実践でき、かつコミュニケーション能力も身につけて仕事に活かすことができる人材を輩出すること。まさに校訓「三実」の教への具現化であり、様々な企業や自治体から期待を寄せられている点でもあります。

は新しい「情報化社会」をつくっていく時代の担い手。各専門分野の教員も学生から「こんなことをやってみたい」という提案があれば、「今の技術でこんなことをやってみようか」と一緒にチャレンジします。そして、学部を越えたつながりをつくることも情報学部の意義であり、大学全体の展望でもあります。今後、加速していく情報化社会の必須スキル、多様なアイデアを全学的に広げていきます。

文理の垣根を越えた 松大に何が実るのか ワクワクするミライをつくりたい



中村 情報学部の新設により、松大は文系・理系6学部7学科を擁する総合大学となりました。今後の展望をお聞かせください。

檀 今春、情報分野を学びたいという意欲あふれる一期生が入学しました。新入生はもちろん、既存学部の学生たちも期待が膨らんでいるはずです。学生たち

は新しい「情報化社会」をつくっていく時代の担い手。各専門分野の教員も学生から「こんなことをやってみたい」という提案があれば、「今の技術でこんなことをやってみようか」と一緒にチャレンジします。そして、学部を越えたつながりをつくることも情報学部の意義であり、大学全体の展望でもあります。今後、加速していく情報化社会の必須スキル、多様なアイデアを全学的に広げていきます。

池上 私は情報学部ができることにより、どんな波及効果が生まれ、大学全体の教育がどう進化していくかワクワクしています。

今後、世界はAIを使うことが当たり前になるはずです。AIを使いこなすことで気候変動や環境問題、さらには2050年問題を解決できるかもしれない。情報と経済・経営など既存学部の学びが文理の垣根を越えて融合し、そのような世界で活躍できる学生がたくさん育っていく、そんなミライを描いています。

中村 職員としても、新しい学生に会えることに、今後の大きな期待を感じています。既存学部の学生がどんな影響を受け、大きく成長していくのか。それにより松大のミライに何が実るのか、私も非常にワクワクします。皆さん、本日はありがとうございます。

松山大学情報学部の学び

情報学を2つの分野から自由に学べるカリキュラムを用意

情報システム分野

情報システムの基礎から応用まで体系的に学び、設計・開発・運用に関する理論と技術を身につける。

情報処理技術の基礎

ITスキル標準※レベル2

データベース、ネットワーク、セキュリティ等の応用技術

ITスキル標準※レベル3～4

※独立行政法人 情報処理推進機構が設定する指標

メディアデザイン分野

メディア情報を処理し、デジタルコンテンツを創造するための知識と技術を身につける。

メディア情報処理

文字・画像・音・映像や物理現象をコンピュータで処理

情報デザイン

ユーザーを意識したWeb・CG・ゲームコンテンツを設計

共通分野

プログラミング、AI・機械学習、データサイエンス

両分野に共通し、近年特に注目が高まっている分野について学ぶ。



情報学部PRアンバサダーの活動レポート

2024年度、学生たちが学部・年次の垣根を越えて「情報学部PRアンバサダー」を結成。SNS等を駆使して情報発信を行っている。

オープンキャンパスのサポート

8月3日・4日に実施したオープンキャンパスにおいて、ドローンや動画編集、3Dプリンタ、モーションキャプチャの体験コーナーを設置。学生が中心となって準備・運営を行った。



情報学部設置にかかる記者会見

8月29日、報道機関7社に前に記者会見を実施。新井英夫理事長、檀裕也情報学部長とともに出席し、アンバサダーとしての活動を紹介。学生たちで作成したPR動画を披露した。



特設サイト公開中

オープンキャンパスやイベント情報、PRアンバサダーたちの活動レポート等の新着情報を随々発信中！今すぐチェックしよう。



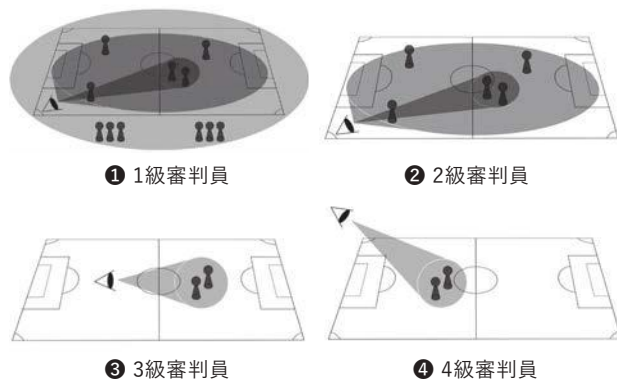
特設サイト



30秒CM



サッカー審判員の視点



談話研究の面白さは コミュニケーションの見える化

私が現在、もっとも力を入れているのは「談話研究」です。談話とは、文の集合体で、まさに私たちのコミュニケーションが談話と言えます。会話で使うような話し言葉を談話とするのか、文章のような書き言葉も談話とするのか、またチャットのような打ち言葉も談話とするのかなど、研究者によって見解に差異はありますが、私は話し言葉も書き言葉も打ち言葉もすべて含めて談話研究の対象であると捉えています。「談話研究」とは、談話そのものを研究したり、談話を利用して社会にある現象を解き

明かしたりする研究分野であり、社会にある「見えないもの」を「ことば」によって「見える化」していくものです。

「ことば」は誰もが毎日使っていますが、普段からコミュニケーションというものを意識することは無いでしょう。その無意識にしているコミュニケーションの様態を明らかにするのが「談話研究」といえば理解しやすいかと思います。日本語が話せる者同士でも意図が伝わらない現象や、話が噛み合わない現象など、ヒントは日常のあらゆるところに存在しているため、「ことば」に敏感であれば研究のテーマには事欠きません。私はコミュニケーションに関しては興味があり、そこで気になったことは全部考えてみるということに信念としています。感覚として持っていたものが「ことば」を介して明らかになっていく過程に、研究の醍醐味を感じています。

談話研究がサッカー審判界へ 与える影響

最近発表した論文に、「レベル別に見るサッカー審判員の視点と思考―発話プロトコル分析の結果から―」があります。サッカーの試合において、審判員はどの部分を、どの視点から、どう見るのか、審判員のレベルによって視点や思考にどのような違いがあるのかについて、審判員たちの「ことば（談話）」から論じています。私自身がサッカー2級審判員と、審判2級

インストラクターとして活動していたこともあり、審判員の級によってファウルの判定にどのような違いがあるのかについて疑問を持ったことが、この研究のきっかけでした。今後、審判員として自分にはどのような力が必要だろうか、また、インストラクターとしてどのように指導できるだろうかと常に考えていたので、自分の武器である言語学からその疑問にアプローチしてみようと思いました。

この研究では、1〜4級の各審判員に試合の映像を観せ、その中で自由に語ってもらい、級によって発話の内容がどう違うのかを検証していきました。4級では「すごい」「うまい」といった、審判以外の第三者視点からの発話の特徴として見られ、3級では主審視点からの発話や、説得力を持たせる判定を下すにはどうすれば良いかという発話が見られました。2級はフィールド全体を見る視点を有し、ポジショニングや戦術に関わる発話が見られ、1級になると、試合全体を見て選手の動きや試合の展開を予測し、事象が起これば時間を測って検証するといった発話の特徴的でした。

この結果として、審判員のレベルによる発話内容の傾向やレベルが上がればどの部分で発話の内容が変わっていくのかということや「動的」に捉えることができませんでした。この研究はどのように審判員を育てるのかといった審判教育に貢献できると考えられます。さらに観客も審判

員の視点や思考を知ること、担当審判員を尊重することができるようになる可能性もあります。

談話研究の成果を 社会に還元する

「人々の幸せにつながる」「社会の役に立つ」「言語コミュニケーション研究を意味する「ウェルフェア・リングイステイクス」という専門用語があります。私は研究成果を社会に還元していくことを意識しています。身近な言語現象に焦点を当て、誰もが使える「ことば」を介して「見えないもの」を「見えるもの」にしていける談話研究は、円滑なコミュニケーションを実現するための指南書的な役割を果たしていくでしょう。談話研究は他に教育面でも力を発揮し、「人々の幸せ」の実現につながっていく可能性が大いにあります。

今後は談話をベースに、中国語の会話や、スポーツと言語、世代間ギャップなど、地域や社会に寄り添った研究を続けていきたいと思っています。



北京大学中文系に留学。学位授与後。

MOCHIZUKI Yusuke

FOCUS

研究の最前線に
フォーカス！

学
研

日常のコミュニケーションで
感じる疑問から
言語の「なぜ」を解き明かす

経済学部経済学科准教授

望月 雄介

MOCHIZUKI Yusuke

【略歴】

- 2014年 北京大学中国語文学系修士課程修了(文学)
- 2021年 名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程満期退学
- 2021年 立命館大学言語教育センター嘱託講師
- 2022年 名古屋大学大学院博士(文学)
- 2023年 松山大学経済学部准教授(現在に至る)

情熱：法学

法学部法学科4年次生

久保千晴さん

KUBO Chiharu
(銭偉栄ゼミ所属)

2023年度法学検定試験表彰式



これまでの成績

法学検定試験ベーシックコース個人優秀賞受賞、
スタンダードコース7位(1,571名中)、アドバンスト
コース9位(371名中)獲得、行政書士試験合格

久保さんが思う「法学の面白さ」

答えが必ずしも一つに決まらないところ。いろんな結論があり得るなかで、その結論に至った理由をどれだけ説得的に説明できるかが難しいところであり、面白いところでもあると思います。

答えが必ずしも一つに決まらない 法学って、断然面白い！

銭ゼミでは、民法(財産法)の判例を中心に勉強しています。授業も民法全般が好きですね。民法は条文が抽象的すぎず、細かすぎず、ちょうどいいと感じるので。法学検定試験3つで結果を出せたとき、まず安心する気持ちが大きかったです。多少は法律を理解できたかなと、少し自信ができました。どんな勉強をしているか？ そうですね…テスト前は復習にどのくらい時間がかかりそうかを逆算し、早めに勉強を始めるようにしています。また積極的に資格試験にもチャレンジ。試験に申し込んで目標と期限を設定すると、イヤでも勉強しないといけないので集中でき、授業の予習・復習にもなって一石二鳥ですよ！



スバツ！

「法学」は好きですか？
好きです。勉強していてしんどいと感じることもありますが、理解できることが増えると、やはり法律は面白いです。

好きな言葉は「有言実行」
性格は完璧主義
今一番気になるニュースはトランプ大統領関係
松大で一番好きな場所は図書館
学部のあひは、エナジードリンク、ハードグミ
将来の目標は大学院かロースクールへの進学
学食で好きなメニューは、ルルレの「魚セット」

練習は嫌い、負けることはもっと嫌い だから練習で常に自分を追い込む！

情性で練習するのではなく、常にテーマを持って練習しています。今日は苦しいこの技を出そう、この技がきたらこの技を必ず返そう…なんて具合に。練習後に振り返ることで自分の強みや弱点が浮き彫りに。強みに磨きをかけ、弱みを一つひとつ潰していくことで、勝利につながると考えています。正直、空手の練習は嫌いですよ(笑)。しかし試合で負けることはもっと嫌いなので、常に練習で自分を追い込んでいます。誰もがゴロゴロしたり、スマホを触ったりして2時間はなんとなく使うものなので、その時間を有効活用して稽古に励んでいる感覚ですね。卒業まであと1年、全日本大会で優勝し、日本代表に選ばれるよう頑張ります！



情熱：空手道

経営学部経営学科4年次生

三上汰明さん

MIKAMI Taaki
(極真会館 戸田道場所属)

これまでの成績

- 第6回全日本フルコンタクト空手道選手権大会 一般男子中量級 ベスト8
- 第11回オープンメントーナメント四国選抜空手道選手権大会 一般男子重量級 優勝 愛媛県知事賞受賞

三上さんが思う「空手道の面白さ」

小柄な選手でも大柄な選手に勝てる場所。空手道には無差別級の試合があり、大きな選手の方が有利ですが、戦い方次第で勝てます。私は170cmもありませんが、2m超の相手に勝つことができました。努力が必ず報われる武道です。

スバツ！

「空手道」は好きですか？

はい。好きです！強さを磨くことはもちろん、精神面も鍛えることができます。

好きな言葉は「痛みなくして得るものなし」
性格は社交的
松大で一番好きな場所は、極真会館
学部のあひは、豆から挽くのが好き
学食で好きなメニューは、カルフォルの「ジュシーチキン竜田」
将来の目標は、お金を貯めて独立して、いろんな大学を学び、就職する

OG INTERVIEW

「学んだ英語を活かして砥部焼の魅力を伝える」

コロナ禍で学生生活は一変
それでも仲間と頑張った日々

もともと英語が好きで、英語はもちろん、いろんな語学について深く学びたいと、松山大学に進学した泉本さん。言語学を専攻し、TOEICの勉強に注力するかわり、コーヒースタンドでのアルバイトにも励む日々を過ごした。将来はキャビンアテンダント(CA)を目指し、在学中にエアラインスクールにも通って熱心に学んでいたが、3年次に上がるタイミングで新型コロナウイルス感染症が拡大。20歳となり、学びも遊びもいっそう充実した学生生活を送るはずだったが、オンライン授業となって構内に入らず、楽しみにしていたゼミ旅行も中止になってしまふ。「突然訪れた想像もつかなかった災厄でしたが、そんな逆境にあっても、仲間たちと『なんとかならん張ろう！』と励まし合って頑張りました。学部は関係なく、学生の距離が近い松大ならではの雰囲気もプラスに働いたと思います」。

コロナ禍で先行き不透明なまま迎え
「つながり」を大事にしながら
砥部焼の魅力を伝えていく



INTERVIEW

株式会社 砥部焼千山

泉本朱音さん

IZUMOTO Akane
2022年3月 人文学部英語英米文学科卒

た就職活動。世界中で人物の移動が止まり、CAの夢も断念せざるを得ない状況に。一途に目指していたからこそ悔しさ、やるせなさがあったが、「いずれば…」と考えていた、家業である砥部焼の仕事

務や、イベント等の企画、広報などを担当しており、2025年1月に完成した「とべそらテラス」の企画・運営にも携わっているという。松大で学んだ英語もインバウンドに向けた店内掲示物の作成や、店

に就くことを決意する。「CAは長年の夢だったので、諦めるかどうか迷いました。でも決めたからには、この仕事に根を下ろすつもりです」と力強く話す。現在はデパートや飲食店に向けた卸業

頭でのコミュニケーションに活かされている。「砥部焼は愛媛が誇る伝統産業の一つ。その魅力再発見につながる一助になればと思っています」と話してくれた泉本さんの、これからの活躍が期待される。

▶▶▶学生時代にPLAY BACK (2018.4~2022.3)

海外	米朝が史上初の首脳会談、米中貿易摩擦が激化、香港で反政府抗議デモ、英EU離脱、二刀流大谷が躍動、ロシアがウクライナ侵攻 ほか
国内	西日本豪雨で甚大な被害、天皇陛下が即位、「令和」に改元、消費税10%および軽減税率導入、新型コロナ拡大、初の緊急事態宣言、安倍首相退陣、東京五輪1年延期で開催 ほか
学内	学生支援団体PIERを中心に西日本豪雨被災地へ募金活動、myu terrace完成、御幸キャンパスにクラブ アクティビティ エリア完成 ほか

先輩への アドバイス

明日は何が起こるかわかりません。想像もしないことが起きて、まったく世界が変わってしまう可能性もあります。勉強も遊びも一つのこと集中することにも興味を持って、将来の選択肢を広げておくことも重要だと思います。

卒業式にて、恩師の櫻井啓一郎教授と一緒に

キャンパスライフを知って・つながって・動き出す！

学生課
小泉 颯太さん

キャンパスNavi@学生部

1年次生も上級生も必見

学生部はなんでも相談できる窓口！

希望を胸に迎えた春、新しい大学生活がスタート。
初めての一人暮らし、高校までと違う授業、アルバイト…戸惑うこともいっぱい。
不安や疑問は学生相談の総合窓口「学生部」へ。キャンパスライフの悩みはココで解決しよう！

学生支援課
神岡 麻奈美さん



未来への可能性を拓く

海外留学にChallenge! 国際センター

自分の学びたいスタイルが選べる

「海外留学プログラム」を知ろう

大学生になったら、ぜひチャレンジしてみたい学びの一つが「海外留学」。
留学先や学べる内容、渡航期間、費用も様々で、自分に合ったスタイルが選べる。
海外とつながって、なりたい自分の将来像を描き、未来を自らの手で創造しよう！



国際交流課
白石 百々愛さん

学生課

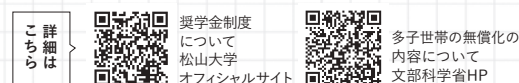
学生生活に関することは学生課がサポート！
何でも気軽に相談できる

こんなときに相談しよう

- ・バイク通学の申請について
- ・資格・能力取得奨励金の申請について
- ・カルフル・ホール、体育施設の利用申請について
- ・学費延納申請について
- ・事故に遭った時の保険について
- ・学内での落とし物について
- ・感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等)で授業に出席できない時の公欠申請について

奨学金について知りたい

松山大学独自の奨学金のほか、日本学生支援機構や民間団体の奨学金など様々な制度があり、毎年4月から募集を開始。情報は学生部前の掲示板や松大UNIPAで案内している。今年度から、修学支援新制度(授業料等減免及び給付奨学金)において、多子世帯の学生等は所得制限なく、大学等の授業料・入学金を国が定める一定額まで無償となる。



学生支援課

学内のあらゆる部署と連携して、皆さんと一緒に困りごとの解決方法を考える



◀学生支援室
利用案内

学生によるサポートも！

学生支援団体 PIER (ピア)

「学生による、学生のための、学生生活支援」をモットーに活動。学生生活を送るなかでの困りごとや悩み相談にも学生スタッフが応じ、学生同士が協力してサポートを行っている。

学生生活における悩みや不安を抱える学生の皆さんをサポートします。交流会や相談会から新たなつながりができるかも!?気軽に参加してください!

PIER代表
経営学部経営学科
3年次生
古谷 夏海さん



活動に興味のある人、募集中!!

障がい学生支援団体 POP (ポップ)

障がいのあるなしに関わらず、学生が豊かな学生生活を送ることができるよう、それぞれの学生に応じたサポートを考え、活動に取り組んでいる。

人の「学びたい」を支えることが、自分の学びにもつながります。支援について考える気持ちがあれば誰でも大歓迎。人の力になるスキルを一緒に身につけませんか?

POP代表
法学部法学科
3年次生
山田 悠真さん



学生部からのお知らせ

SNSの甘い誘いは要注意! 冷静に判断しよう

●そんな簡単に儲かる話はない! マルチ商法かも

会員が商品を販売しながら新規会員を勧誘すると紹介料が得られるマルチ商法。インフルエンサー風の投稿で「ラクに稼げる」「絶対に儲かる」などと誘い、DMで勧誘する手口が多発している。実際には勧誘が強引、初期投資が必要など、金銭トラブルに発展しやすい。「おいしい」話はまず疑い、断る勇気を。契約してしまったら「クーリング・オフ制度」を活用しよう。

困ったら、すぐ相談しよう

消費者
ホットライン▶



「闇バイト」の危険性について

警察庁▶



トラブル回避と対処法などは入学時に学生部ガイダンスで配布する「新入生へのメッセージ(冊子)」などを参考にしよう。※学生部でも配布中

学生課 ☎ 089-926-7148 mu-gakusei@matsuyama-u.jp

学生支援課 ☎ 089-926-8212 mu-gakusup@matsuyama-u.jp

CHALLENGE

留学してみたい!

CONNECT

国際センターへ
相談

気軽に短期間で学んでみたい

短期プログラム

長期プログラム

時間をかけて、しっかり学びたい

CREATE

語学力が向上して
海外への視野が
広がった!

国際センターがサポートするプログラム

	期 間	研修校への授業料等の納付	単位認定
短期語学研修講座	2~5週間	・自己負担 研修修了後に助成金支給あり	所定の 条件を満たせば 申請可
長期英語研修講座	12週間または30週間	・当該年度本学学費相当分を超える額は自己負担 ・研修修了後に助成金支給あり	
学生海外語学研修助成制度	3~6週間	・自己負担 研修修了後に助成金支給あり	
派遣留学制度	4ヵ月間~1年間	・原則として入学金、授業料は免除	なし
海外体験学習	10日間	・自己負担 研修修了後に助成金支給あり	

※留学期間中も学費納付は必要(全額)

プログラムに参加してどうだった? 先輩に聞いてみよう

短期 韓国語研修講座 研修期間/2024年8月(2週間)

韓国の暮らしを 肌で感じられた!

授業は韓国語と英語を交えて行われ、歴史博物館や国会議事堂、民俗村などを実際に訪れながら、韓国の歴史について学びました。また、研修の一環として参加したソウルツアーは、韓国の歴史や暮らし、流行を肌で感じる貴重な機会に。研修を通じて、リスニング力の向上を実感する一方で、スピーキングには難しさを感じましたが、自信がなくなるとも積極的に会話に挑戦する姿勢の大切さを改めて認識しました。

韓国 ソウル



経済学部経済学科3年次生
坂本 健瑠さん

長期 英語研修講座 研修期間/2024年9~12月(3ヵ月間)

カナダ ビクトリア



人文学部英語英米文学科3年次生
渡部 早映子さん

英語力が向上し、 異文化交流も叶った!

リスニングとスピーキング力の向上、外国人の友人をつくり、授業外の活動も積極的に参加しながら、その国についても学ぶことを目標にして留学。24時間、英語漬けの環境で学習し、特に「リンクング」を意識して学びました。ディスカッションやボランティアでスピーキングも上達。会話の理解力が向上し、文化交流を通じて外国人の友人と絆を深めることもできました。

国際センターからのお知らせ

海外留学にチャレンジしてみたい人は気軽に相談してみよう!

適時、募集ガイダンスを実施します。
詳しくは国際センターまで。

各ガイダンス日程は
公式Instagramに掲載中



海外留学
ガイドブックの
詳細はこちらから!

国際センター(国際交流課)は7号館の西側、有師寮の1階にあります!

☎ 089-926-7148 mu-international@matsuyama-u.jp